

# アートを通して

対象:4歳児さくら組  
作成者:山川可純  
作成日:2019年1月25日

ねらい:身近な自然と十分に触れ合い興味を持って見たり、考えたり、遊びに取り入れたりして楽しむ。



## 保育の振り返り

1学期はこいのぼり製作するにあたって実際にお寺へ鯉を見に行きました。鯉を見に行く中で手を叩くと鯉が近づいて来る。等様々な事を知ることが出来ました。(思考力の芽生え)また、お部屋での自由遊びの時間にも鯉になりきって遊ぶ姿が見られました。鯉を見に行ったことが発展していき、鯉だけでなく水の中にはどんな生き物がいるかについても図鑑や絵本を見る中で知ることができ、ルンビニで海や川をイメージした空間で1人1人が好きな生き物になりきって餌を取ったり、魚の泳ぐ真似などをし自由に表現する楽しさを味わいました。(豊かな感性と表現)

1学期に鯉を見に行ったことから様々な形へ展開されていきました。これらの活動を生かし、作品展での個人の絵本製作では、海をテーマとした絵本作りをしていきました。表紙には海の生き物の絵を貼りました。実際に絵本や図鑑を見て「しましまのさかなおるで」「さめもおる」「おおきいなあ」と友達とやり取りを楽しむ中で様々な色や形の生き物がいることを発見しながら表現していく子どもたちでした。(自然との関わり)(言葉による伝え合い)

一つの活動から様々な形へ展開され絵本作りへと繋がりました。また、水の中の生き物に触れながら表現する楽しさも味わうことができました。